

THE SAISON FOUNDATION

PRESS RELEASE

2017年1月26日

公益財団法人セゾン文化財団

2017年度 助成事業

および

自主製作・共催事業

決定のご報告

セゾン文化財団（東京都中央区）は1987年の設立以来、現代演劇・舞踊分野を中心に支援活動を行っています。このたび、2017年度の助成事業および自主製作・共催事業を理事会において決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

助成総件数 および 総額	43件 / 6,400万円
■ 現代演劇・舞踊助成	41件 / 5,650万円
■ 芸術交流活動(非公募)	2件 / 650万円
■ 現代演劇・舞踊助成 フライト・グラント	100万円
自主製作事業	1件
共催事業	1件

ご掲載・ご取材に関するお問い合わせは

公益財団法人セゾン文化財団 事務局

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-12-7 京橋山本ビル 4階

TEL 03-3535-5566 FAX 03-3535-5565

EMAIL foundation@saison.or.jp まで

公益財団法人セゾン文化財団 2017年度プログラム構成

助成事業

資金援助や情報提供、また希望する助成対象者には、当財団が運営する演劇・舞踊の稽古専用施設「森下スタジオ」(東京・江東区／大・中・小スタジオ、ゲストルーム)を貸与しています。

I. 現代演劇・舞踊助成「芸術家への直接支援」

- ① セゾン・フェロー [ジュニア・フェロー、シニア・フェロー]
- ② サバティカル(休暇・充電)

II. 現代演劇・舞踊助成「パートナーシップ・プログラム」

- (1) 創造環境イノベーション [課題解決支援、スタートアップ支援]
- (2) 国際プロジェクト支援
- (3) 芸術交流活動 -非公募-

III. 現代演劇・舞踊助成「フライト・グラント」

自主製作・共催事業

自主製作事業

○ヴィジティング・フェロー(セゾン・アーティスト・イン・レジデンス)

共催事業

○Real Artist Conversations 〈英語ワークショップ〉

2018年度の公募についてお知らせ:

要項発表/募集開始は本年(2017年)8月を予定しています。

対象は、2018年4月から2019年3月までの期間に行われる事業です。

(森下スタジオの使用申請期間についても同様です。)

注) 本リリースは2017年1月現在の申請受付内容に基づくため、今後変更の可能性がございます。(敬称略)

I. [現代演劇・舞踊助成] 芸術家への直接支援

[36,000 千円]

① セゾン・フェロー(ジュニア・フェロー/シニア・フェロー) ー公募プログラムー 【23 件/35,000 千円】

演劇・舞踊界での活躍が期待される演出家、劇作家、または振付家の創造活動を支援対象としたプログラム。フェローに選ばれると、自らが主体となって行う創造活動に当財団からの助成金を充当することができるほか、必要に応じて稽古場、ゲストルームの優先貸与および活動に必要な情報の提供が受けられる。今後期待される若手(ジュニア: 2 年間継続助成)および次段階としてさらなる展開、活躍が期待される中堅(シニア: 3 年間継続助成、但し芸術創造活動プログラム、ジュニア・フェローを経由しないでシニア・フェローが初めての助成となる場合は 4 年間継続)の芸術家を支援する。

(今年度対象期間は 2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日まで)

ジュニア・フェロー 継続助成:1,000 千円/年間

[13 件/13,000 千円]

<新規対象者> 継続助成期間:2017 年度から 2018 年度まで

助成対象者名 【ジャンル】	職業・肩書	主宰団体	活動拠点	助成内容 (千円/年間)
しらが 白神 ももこ 【舞踊】	振付家・演出家	モモンガ・コンプレックス	東京	1,000
2005 年、モモンガ・コンプレックス設立。普段の生活の中から発想された表現や、無駄や欠点としてそぎ落とされてしまう事柄からにじみ出てくる、社会や物事、人間の本质を、シュールかつ情緒ある振付で表現。親しみ易さと共感の中に深みがあるダンスを目指す。2014 年、F/T14 の主催プログラムとして作品を上演。2015 年、越後妻有アートトリエンナーレに招聘される。				
まき わねたか 牧 宗孝 【舞踊】	演出家・振付家・ ダンサー・音楽家	東京ゲゲゲイ	東京	1,000
2013 年、東京ゲゲゲイを結成。セクシュアルマイノリティの視点から、相反する多様な価値観を、キテレツメンタルワールドをキーワードに、舞踊、演劇、音楽のカテゴリーを超え、アンダーグラウンドからエンターテインメントまで、幅広い作品を通して表現している。2016 年にコンテンポラリーダンス以外のジャンルから初の日本ダンスフォーラム賞を受賞。				
やまもと けんすけ 山本 健介 【演劇】	劇作家・演出家	The end of company ジエン社	東京	1,000
2007 年、The end of company ジエン社設立。脱力と虚無、諦念といったテーマを作品の根底に、次第に「同時多発の会話」や「寡黙による雄弁」といった手法による創作を行い、コミュニケーションを放棄していることからくるコミュニケーションを舞台上で展開する。2012 年、F/T12 公募プログラムに選ばれる。2016 年、岸田国土戯曲賞最終候補作品ノミネート。				

撮影:ARISAK

撮影:萱伶子

<新規対象者:2 回目> 継続助成期間:2017 年度から 2018 年度まで

かぎやま けいご カゲヤマ 気象台 【演劇】	劇作家・演出家	sons wo:	東京、 静岡	1,000
にしお かおり 西尾 佳織 【演劇】	劇作家・演出家	鳥公園	東京	1,000
やまもと すぐる 山本 卓卓 【演劇】	劇作家・演出家	範宙遊泳	東京	1,000

助成対象者名 【ジャンル】	職業・肩書	主宰団体	活動拠点	助成内容 (千円/年間)
------------------	-------	------	------	-----------------

<継続対象者> 助成期間:2016年度から2017年度までの継続助成 (*=2回目の助成対象者)

きのした ゆういち 木ノ下 裕一* 【演劇】	監修・補綴	木ノ下歌舞伎	京都	1,000
しのだ ちはる 篠田 千明 【演劇】	演出家・作家		東京、 バンコク	1,000
すずき たくろう スズキ 拓朗 【舞踊】	振付家・ダンサー	CHAiroiPLIN	東京	1,000
せき かおり* 関 かおり* 【舞踊】	振付家・ダンサー	関かおり PUNCTUMUN	東京	1,000
たに けんいち 谷 賢一 【演劇】	作家・演出家・翻訳家	DULL-COLORED POP	東京	1,000
みうら なおゆき 三浦 直之 【演劇】	劇作家・演出家	ろろ 口	東京	1,000
むらかわ たくや 村川 拓也* 【演劇】	演出家		京都	1,000



シニア・フェロー 継続助成:1,000千円~3,000千円/年間

[10件/22,000千円]

<新規対象者> 継続助成期間:◇=2017年度から2019年度まで/◆=2017年度から2020年度まで

助成対象者名 【ジャンル】	職業・肩書	主宰団体	活動拠点	助成内容 (千円/年間)
いわぶち ていた 岩渕 貞太 【舞踊】	振付家・ダンサー		東京	◇ 2,500
2005年、初の振付作品を発表。身体の構造に着目し、作品を創作している。他ジャンルの芸術家とのコラボレーションによって身体表現の可能性を模索。様々な空間に身体が向き合うソロパフォーマンスも発表。2012年、関かおりとの共同振付作品で、横浜ダンスコレクション EX2012 若手振付家のための在日フランス大使館賞受賞。2013-14年度ジュニア・フェロー。 撮影:細川浩伸				
すぎはら くにお 杉原 邦生 【演劇】	演出家・舞台美術家	KUNIO	京都	◇ 2,500
2004年、「KUNIO」を立ち上げ。「古今東西の戯曲をポップ且つ大胆な演出で現代に蘇らせる」ことをテーマに、国内外の古典から新作に至る戯曲の本質を浮き彫りにし、新たな上演の形と、いま上演する意味を模索する。2006年より「木ノ下歌舞伎」にも企画、演出として参加、舞台美術も手がける。木ノ下歌舞伎『三人吉三』が2015年読売演劇大賞上半期作品ベスト5に選出。2013-14、2015-16年度ジュニア・フェロー。 撮影:堀川高志				
ひらはら しんたろう 平原 慎太郎 【舞踊】	演出家・振付家	OrganWorks	東京	◆ 1,000
2013年、「OrganWorks」を結成。自身が経験してきたあらゆる表現手段を用いて時代性を捉え、作品を創作。また演劇作品のステージングなども行う。2013-14年に文化庁の海外研修制度によりマドリッドで研修。2015年、小樽市文化奨励賞、2016年、トヨタコレオグラフィアワード2016の「次代を担う振付家賞」と「オーディエンス賞」受賞。 撮影:SAKI MATSUMURA				

<新規対象者> (つづき) 継続助成期間: ◆=2017年度から2020年度まで

助成対象者名 【ジャンル】	職業・肩書	主宰団体	活動拠点	助成内容 (千円/年間)
ふじわら 藤原 ちから 【演劇】	劇作家・演出家		神奈川	◆ 1,000
2014年、観客がテキストを片手に街を巡る演劇作品『演劇クエスト』を上演、以降国内外の様々な都市で滞在制作・公演を実施。異質な他者への関心をもとに、人々を分断する壁を越境するために、旅、批評、キュレーション、創作を行う。演劇の歴史を踏まえつつもジャンルには囚われず、常に各地で誰かとコラボレーションをし、劇場の外での活動も多く展開。2017年から新しいシリーズ作品を創作、上演予定。				
まえかわ ともひろ 前川 知大 【演劇】	劇作家・演出家	イキウメ	東京	◆ 1,000
2003年、劇団「イキウメ」を結成。超常的な世界観の中で、身近な生活の裏側に潜む異界を描く劇作と、空間と時間を同時に編集するシームレスな演出を特徴とする。2010年、鶴屋南北戯曲賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、2012年、読売演劇大賞最優秀演出家賞、同大賞など、数多くの受賞歴をもつ。				

撮影: 消忠之

<継続対象者> 継続助成期間: □=2015年度から2017年度まで / ■=2016年度から2018年度まで

ただ じゅんのすけ 多田 淳之介 【演劇】	演出家	東京デスロック	東京	□ 3,000
つかほら ゆうや 塚原 悠也 【パフォーマンス】	ディレクター	contact Gonzo	大阪	□ 3,000
ひがしの ようこ 東野 祥子 【舞踊】	振付家	ANTIBODIES Collective	京都	■ 2,500
もりした まき 森下 真樹 【舞踊】	振付家・演出家・ ダンサー		東京	□ 3,000
やまぐち あかね 山口 茜 【演劇】	劇作家・演出家・ プロデューサー	トリコ・A・プロデュース サファリ・P	京都	■ 2,500

② サバティカル - 公募プログラム -

【1件/1,000千円】

日本を拠点に継続的に作品を発表し、10年以上の活動歴を有し、一定の評価を受けている劇作家、演出家または振付家が、これまでの活動を振り返り、今後の展開のヒントを得る契機となる1ヶ月以上のサバティカル(休暇・充電)期間を設け、海外の文化や様々な芸術に触れてもらうことを目的とするプログラム。渡航・滞在費用の一部に対して助成金を交付。

助成対象者名 職業 【ジャンル】	テーマ	出発予定日 帰国予定日	訪問予定地	助成内容 (千円)
江本 純子 劇作家・演出家・ 俳優 【演劇】	アートの前にあるもの と暮らす旅	2017年7月21日 2017年8月22日	アイスランド、 ハワイ島、カウアイ島 (経由地: コペンハーゲン、 ロサンゼルス)	1,000

(1) 創造環境イノベーション –公募プログラム– 【7 件/8,000 千円】

現代演劇・舞踊界が抱えている問題点を明らかにし、その創造的解決を目指す新規事業に対して支援。予め課題が設定されている「課題解決」と、新規事業の立ち上げを支援する「スタートアップ」の2つのカテゴリーで公募。資金提供の他、必要に応じてワークショップ、会議、シンポジウム等の会場として森下スタジオ、ゲストルームを貸与。3年間を上限に支援。(以下の実施時期は2017年度中の予定。)

■課題解決支援：本年度の課題「舞台芸術の観客拡大策」

<継続採択>

助成対象者名 代表者名 【ジャンル】	事業	実施時期	開催地	助成内容 (千円)
公益財団法人 横浜市芸術文化 振興財団 澄川 喜一 【舞踊】	【2年度目】地域・企業と劇場 をつなぐダンスプログラム	2017年4月1日 -2018年3月31日	神奈川	2,000

■スタートアップ支援

<新規採択>

ダンス保育園！！ 実行委員会 住吉 智恵 【舞踊】	ダンス保育園！！ 子育てをしながら創作活動に取り 組む舞踊家や関係者と、子育て中 も芸術鑑賞を楽しみたい観客層な ど多様な立場の人々を応援する 「仕組みづくり」を目的とする事業。 長期的にはスタジオ、ワークショッ プ、託児スペースを併設した新しい 形の複合施設の業態提案につな げることを目指す。	2017年9月1日 -2017年11月30日	神奈川、 東京	1,000
------------------------------------	---	---------------------------	------------	-------

<継続採択>

特定非営利活動法人 Explat 植松 侑子 【舞台芸術】	【3年度目】 舞台芸術のアートマネジメ ント専門職に向けた人材育 成と雇用環境整備のための 中間支援組織「Explat」	2017年4月1日 -2018年3月31日	東京	1,000
特定非営利活動法人 芸術公社 相馬 千秋 【舞台芸術】	【3年度目】 シーン/アジア ーアジアの観客空間をつくる	2017年4月1日 -2018年3月31日	福岡、 台南、 ソウル、 ミュンヘン 他	1,000
アジア女性舞台芸術 会議実行委員会 羊屋 白玉/ 矢内原 美邦 【舞台芸術】	【3年度目】 アジア、女性、舞台芸術を めぐるプラットフォームの持続 化と発展	2017年4月2日 -2018年2月28日	京都、 東京、 兵庫	1,000 森下 スタジオ +ゲスト ルーム 貸与

助成対象者名 代表者名 【ジャンル】	事業	実施時期	開催地	助成内容 (千円)
--------------------------	----	------	-----	--------------

■スタートアップ支援 <継続採択> (つづき)

NPO 法人アートネット ワーク・ジャパン (ANJ) 蓮池 奈緒子 【舞台芸術】	【2年度目】 立川市南側 エリア創客プロジェクト	2017年4月1日 -2018年3月31日	東京	1,000
姜 侖秀(カン・ユンス) 【演劇】	【2年度目】 インターナショナル・シェア ハウス「照ラス」	2017年4月1日 -2018年3月31日	岡山	1,000

(2) 国際プロジェクト支援 - 公募プログラム - 【10件/12,500千円】

演劇・舞踊の国際交流において特に重要な意義を持つと思われる複数年の継続プロジェクトに対して3年を上限に助成。希望者には、調整の上、森下スタジオ、ゲストルームが優先貸与される。

<新規採択>

助成対象者名 代表者名 【ジャンル】	事業名	実施時期	開催地	助成内容 (千円)
庭劇団ベニノ/ 合同会社アルシュ タニノクロウ 【演劇】	Mプロジェクト タニノクロウへのSPAC:静岡県舞台 芸術センター委嘱作品を、ドイツの 舞台美術家カスパー・ビヒナーとの 共同制作として企画。創作は2016 年より開始。2017年度に『Moon』日 本公演、『Mother』ヨーロッパツアー を検討中。	2017年4月1日 -2017年9月30日	静岡他	1,000
The Necessary Stage Ltd Alvin Tan 【演劇】	The Necessary Stage - HANCHU YUEI Collaboration シンガポールのネセサリー・ステー ジと鑑賞遊泳による事業。前者の アルヴィン・タンが演出/コンセプト を、同ハレーシュ・シャルマが戯曲 を、後者の山本卓卓が作・演出を 担当。世代や老いをテーマに2016 年より制作開始。今後日本でのリハ ーサル、シンガポール公演、マレ ーシアと日本でのツアーを予定。	2017年5月1日 -2017年11月30日	シンガポ ール、 クアラルン プール、 東京	1,500 森下 スタジオ +ゲスト ルーム 貸与
株式会社 precog 中村 茜 【演劇】	岡田利規タイ国際共同制作 プロジェクト 岡田利規とタイの小説家ウティット・ ヘーナムーンを中心とする事業。 2017年度はワークショップ、共同製 作のパートナーリサーチ等を、2018 年度にタイ公演を予定。新たな協 働モデルの提示と、技術者や制作 者育成、文学としての戯曲翻訳(タ イ語・日本語)出版なども計画。	2017年4月17日 -2017年9月30日	バンコク、 東京、 アデレード 他	1,000 ゲスト ルーム 貸与

<新規採択> (つづき)

助成対象者名 代表者名 【ジャンル】	事業名	実施時期	開催地	助成内容 (千円)
フローティング ボトル 手塚 夏子 【舞踊】	フローティング ボトル プロジェクト 当財団共催事業「ダンス・アーカイブの手法」(2014-15)がきっかけで手塚夏子とスリランカのヴェヌーリ・ペレラが出会い、また韓国のソ・ヨンランが2014年の来日時に上演した作品を観て手塚が衝撃を受けたことから誕生したプロジェクト。3人が共通して関心を抱く古い祭や儀式等の民俗芸能を各々が調査し、その結果を元に共同創作を行う。	2017年4月1日 -2017年7月23日	神奈川、 福岡他	1,000
山下 残 【舞踊】	ファーム・ファジール(マレーシア)&山下残(日本) パフォーマンスアートができることを国家を越えて再考する事業。両国の社会情勢のリサーチとして2017年は日本で行い、2018年は政治家でもあるファジールの選挙に山下が同行。2019年創作、発表。	2017年4月8日 -2018年3月31日	東京、 京都、 マレーシア	1,000 森下 スタジオ +ゲスト ルーム 貸与

<継続採択>

助成対象者名 代表者名 【ジャンル】	事業名	実施時期	開催地	助成内容 (千円)
ARTizan 日沼 禎子 【舞踊】	【最終年度】 国際ダンス交流プロジェクト 《Odori-Dawns-Dance》 (踊り・ダウンス・ダンス)	2017年8月1日 -2018年2月28日	岩手、 東京	1,500
OrganWorks 平原 慎太郎 【舞踊】	【2年度目】 OrganWorks・ Provisional Danza 協働制作企画 「Time of Conversation」	2017年4月24日 -2017年6月17日	神奈川、 東京	1,000 森下 スタジオ +ゲスト ルーム 貸与
DOMINO Zvonimir Dobrovic 【舞踊】	【最終年度】 Balkan-US-Japan research development: residencies, dance, music and visual arts-focusing on social issues (identity and economics of identity) and audience communication	2017年6月1日 -2018年2月28日	ザグレブ、 東京他	1,500 森下 スタジオ +ゲスト ルーム 貸与
一般社団法人 Port B 高山 明 【演劇】	【2年度目】 ヨーロッパ・ポタリーズ・ シンクベルト	2018年2月1日 -2018年3月31日	フランクフルト、 ウィーン、 アテネ	1,500
燐光群／有限会社 グッドフェローズ 坂手 洋二 【演劇】	【最終年度】 アジア共同プロジェクト	2017年8月15日 -2018年2月9日	チェンマイ、 東京、 マニラ	1,500 森下 スタジオ +ゲスト ルーム 貸与

(3) 芸術交流活動支援 －非公募プログラム－

【2件/6,500千円】

海外の非営利団体との継続的なパートナーシップに基づく芸術創造活動、日本文化の紹介事業、フェローシップ事業等に対して支援するプログラム。

助成対象者名 代表者名 【ジャンル】	事業名	実施時期	開催地	助成内容 (千円)
Asian Cultural Council (ACC) Miho Walsh 【舞台芸術】	【29年度目】 ACC Japan-United States Arts Program (JUSAP) Fellowships ACC/Saison Foundation Fellow	2018年1月1日 -2018年12月31日	東京、 ニューヨーク 他	6,000 森下 スタジオ +ゲスト ルーム 貸与
Japan Society, Inc. Yoko Shioya 【演劇】	日本現代戯曲英訳版 プレイ・リーディング・ シリーズ 日本の優れた現代戯曲を紹介するシリーズ。日本人劇作家による現代戯曲の英訳版を、米国人演出家が米国人キャストを起用してリーディング上演する。3年計画初年度にあたるシーズン2017/2018では、岩井秀人(ハイバイ)の『おとこたち』を紹介する予定。	2018年2月1日 -2018年3月31日	ニューヨーク	500

Ⅲ. [現代演劇・舞踊助成] フライト・グラント

海外からの招聘に伴う渡航費が緊急に必要な場合の支援プログラム。上期と下期に公募予定。
(2017年度総額は1,000千円)

自主製作事業・共催事業

舞台芸術に関連した多様な事業を、セゾン文化財団が主催・共催または協力する。

【自主製作事業】

ヴィジティング・フェロー(セゾン・アーティスト・イン・レジデンス)

現代演劇・舞踊の海外ネットワークの拡大、相互理解促進のため、重要な役割を担うことが期待される海外のアーティストおよびアーツ・マネジャー(プログラム・ディレクター、プレゼンター、キュレーターなど)のリーチのために、森下スタジオのゲストルームを使った滞在機会を提供。日本の現代演劇、舞踊状況、背景、魅力を発見、理解するための招聘プログラム。本年度は以下の2名を招聘予定。来日時にはフェローによるレクチャー(パブリック・トーク)も開催。日本の舞台芸術関係者との交流の場を持つ。

助成対象者名 【出身国／活動拠点】 略歴	職業	テーマ 滞在目的	滞在開始日 滞在終了日
----------------------------	----	-------------	----------------

<アーティスト>

<p style="text-align: center;">Begüm Erciyas (ベギュム・エルジヤス) 【トルコ／ベルギー】</p> <p>トルコのビルケント大学で分子生物学と遺伝子学を学び、その後、ザルツブルク・エクスペリメンタル・アカデミー・オブ・ダンスでダンス・振付を専攻。近年は身体やパフォーマンスに関する新しい表現形式を提示する作品で注目を集め、ベルリン国際ダンスフェスティバル「8月のダンス」やクンステン・フェスティバル・デザール、HAU やカイデアター等で作品を発表。</p>	<p>振付家</p>	<p style="text-align: center;">Handling the Invisible</p> <p>【滞在目的】 物に意味や価値、生命を与えるコミュニティの催事や儀式をリサーチし、新作の構想を得る。例えば針供養等の伝統行事や、茶会、文楽についてリサーチをする予定。滞在成果として、2018年に作品発表を計画している。</p>	<p>2017年10月25日 -2017年12月13日</p>
--	------------	---	-------------------------------------

<アーツ・マネジャー>

<p style="text-align: center;">Laura Stasane (ラウラ・スタザネ) 【ラトビア】</p> <p>ラトビア文化アカデミーで国際文化関係を専攻。現在 New Theatre Institute of Latvia のプロデューサー、プログラム・キュレーターと活動。主にキュレーターとしてコンテンポラリーダンスのプログラムを企画。「Dance Move Cities」等の国際プロジェクトに従事した豊富な経験を持つ。2011年のTPAMに来日、2014年の欧州文化首都(リガ)開催時にcontact Gonzoを招聘。</p>	<p>New Theatre Institute of Latvia プロデューサー、 プログラム・ キュレーター</p>	<p style="text-align: center;">Researching the relationship with Local</p> <p>【滞在目的】 地域やコミュニティに関わるアーティストに着目し、作品においてどのように地域やコミュニティを取り扱っているのかをリサーチする。滞在成果として、日本とラトビアのアーティストの交流の場や機会をつくることを計画している。</p>	<p>2017年4月25日 -2017年5月19日</p>
---	---	---	-----------------------------------

【共催事業】

Real Artist Conversations (英語ワークショップ)

海外進出を目指す、もしくは渡航予定のある舞台芸術関係者を対象とする少人数制の英語ワークショップ。森下スタジオにて開催。

公益財団法人セゾン文化財団
2017 年度〈現代演劇・舞踊対象 公募プログラム〉概況
 ヴィジティング・フェロー(セゾン・アーティスト・イン・レジデンス)を含む

I. 芸術家への直接支援

プログラム名	プログラムの目的	対象事業	申請数	採択数
セゾン・フェロー ジュニア・フェロー シニア・フェロー	芸術家の創造活動を支援	芸術創造に関わる活動全般 (原則 2～3 年間の継続支援)	ジュニア・フェロー	13
			79*	
			シニア・フェロー	10
			25*	
サバティカル (休暇・充電)	舞台芸術家による異文化体験の機会を提供	日本を拠点に活動する演出、振付、劇作の専門家による、1ヶ月以上の海外渡航	2	1
小計			106	24

*継続ジュニア 7 件、シニア 5 件を含む

II. パートナーシップ・プログラム

プログラム名	プログラムの目的	対象事業	申請数	採択数
創造環境イノベーション	現代演劇・舞踊界が現在抱えている問題点を明らかにし、その創造的解決を目指した新規事業を支援	課題解決事業	6*	1
		スタートアップ事業	15*	6
国際プロジェクト支援	現代演劇・舞踊の国際的な活動において特に重要な意義を持つと思われる2年以上の継続プロジェクトを支援	作品もしくはテーマの定まった2年以上にわたる国際的な事業	21*	10
小計			42	17

*「課題解決事業」継続 2 件、「スタートアップ事業」継続 5 件を含む
 *継続 5 件を含む

合計

148 41

注) 非公募採択の 2 件(芸術交流活動)は除く

自主製作事業

プログラム名	プログラムの目的	申請数	採択数
ヴィジティング・フェロー (セゾン・アーティスト・イン・レジデンス)	日本の現代演劇・舞踊状況、背景、魅力を発見、理解するために来日してリサーチをする機会を、海外のアーティストまたはアーツ・マネジャーへ提供	20	2

以上

2017年度収支予算書（損益計算方式）

2017年4月1日から2018年3月31日

単位:円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	170,925,000	178,750,000	△ 7,825,000	
② 特定資産等運用益	8,000,000	2,000,000	6,000,000	
③ 事業収益(スタジオ賃貸収益)	10,595,000	11,800,000	△ 1,205,000	
④ 受取助成金	5,000,000	5,000,000	0	
⑤ 受取負担金	1,680,000	1,800,000	△ 120,000	
⑥ 賃貸収益(駐車場賃貸)	3,580,000	3,580,000	0	
⑦ 雑収益	220,000	100,000	120,000	
経常収益計	200,000,000	203,030,000	△ 3,030,000	
2. 経常費用				
① 事業費	《 171,930,000 》	《 172,600,000 》	《 △ 670,000 》	
支払助成金	64,000,000	65,000,000	△ 1,000,000	
支払制作費	3,000,000	2,500,000	500,000	
給与手当	30,829,000	31,100,000	△ 271,000	
臨時雇賃金	2,300,000	2,500,000	△ 200,000	
福利厚生費	5,630,000	5,600,000	30,000	
退職給付費用	880,000	880,000	0	
賞与引当金繰入額	2,371,000	1,800,000	571,000	
謝礼金	1,370,000	1,100,000	270,000	
会議費	850,000	1,000,000	△ 150,000	
旅費交通費	2,200,000	2,600,000	△ 400,000	
通信運搬費	760,000	750,000	10,000	
減価償却費	28,000,000	27,600,000	400,000	
消耗什器備品費	200,000	400,000	△ 200,000	
消耗品費	240,000	250,000	△ 10,000	
修繕費	760,000	700,000	60,000	
印刷製本費	3,800,000	3,700,000	100,000	
光熱水料費	4,300,000	4,900,000	△ 600,000	
賃借料	0	0	0	
保険料	860,000	860,000	0	
租税公課	6,900,000	7,000,000	△ 100,000	
委託費	12,000,000	11,500,000	500,000	
調査費	460,000	460,000	0	
雑費	220,000	400,000	△ 180,000	
② 管理費	《 64,260,000 》	《 63,140,000 》	《 1,120,000 》	
役員報酬	4,450,000	4,150,000	300,000	
給与手当	28,370,000	28,550,000	△ 180,000	
福利厚生費	6,830,000	5,900,000	930,000	
退職給付費用	1,840,000	1,840,000	0	
賞与引当金繰入額	3,130,000	3,000,000	130,000	
謝礼金	50,000	100,000	△ 50,000	
会議費	400,000	460,000	△ 60,000	
旅費交通費	1,000,000	1,200,000	△ 200,000	
通信運搬費	450,000	600,000	△ 150,000	
減価償却費	1,900,000	1,600,000	300,000	
消耗什器備品費	100,000	400,000	△ 300,000	
消耗品費	200,000	400,000	△ 200,000	
印刷製本費	300,000	500,000	△ 200,000	
光熱水料費	540,000	1,000,000	△ 460,000	
賃借料	11,090,000	10,000,000	1,090,000	
保険料	20,000	20,000	0	
租税公課	260,000	120,000	140,000	
委託費	1,200,000	1,000,000	200,000	
雑費	2,130,000	2,300,000	△ 170,000	
経常費用計	236,190,000	235,740,000	450,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 36,190,000	△ 32,710,000	△ 3,480,000	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 36,190,000	△ 32,710,000	△ 3,480,000	
経常外増減の部				
1. 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
2. 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 36,190,000	△ 32,710,000	△ 3,480,000	
当期一般正味財産期首残高	4,830,734,000	5,123,716,000	△ 292,982,000	
当期一般正味財産期末残高	4,794,544,000	5,091,006,000	△ 296,462,000	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
当期指定正味財産期首残額	4,500,000,000	4,500,000,000	0	
当期指定正味財産期末残額	4,500,000,000	4,500,000,000	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	9,294,544,000	9,591,006,000	△ 296,462,000	

2017年度設備投資計画

2017年4月1日から2018年3月31日

単位:円

設備投資の内容	詳細	予算額
空調設備	森下スタジオ A・Bスタジオ及びスタッフルーム用 機器の老朽化に伴う更新	6,000,000
パソコン	事務局及び森下スタジオ用機器[サーバは除く]の 老朽化による交換 (一体型PC8台・ノート型PC1台)	2,500,000
合計		8,500,000